

要約

食味良好で、高温年でも良く着色し、収穫前落果がみられない、赤色の早生品種として、りんご新品種「紅はつみ」を育成しました。

研究成果の概要

1 背景・目的

生産・販売環境、消費者ニーズが変化していく中で、将来にわたってりんご産業を支え、競争力を維持していくための有望な新品種の育成を目指しています。

2 内容

- 収穫時期は「つがる」よりやや早い9月上旬です。
- 果皮色は鮮紅色で、縞が無いか、不明瞭に入り、着色は良好で、夏場の気温が高い年でも良く着色します。
- 糖度は13~14%程度、酸度は0.3~0.4%と、甘味と酸味のバランスがよく、早生品種としては「つがる」より濃厚な食味です。
- 収穫前落果は少なく、落果防止剤は必要ありません。

3 活用等

- 着色管理が容易で、落果防止剤が不要なことから労力軽減につながります。
- 販売期間は9月上旬から「早生ふじ」や「トキ」が出まわる10月上旬までと想定され、「^{みき}未希ライフ」や「つがる」等の一部を代替する品種と考えられます。



「紅はつみ」の果実



関連情報

- 苗木は、平成30年秋から販売されています。
- 詳細については、平成31年度普及する技術・指導参考資料を参照してください。
https://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/nourin/nosui/hukyuugijutu_kajyumokuji.html

りんご研究所 品種開発部

Tel. 0172-52-2331

E-mail nou_ringo@aomori-itc.or.jp